

芦北・水俣ブロックの特徴

熊本県作業療法士会の芦北・水俣ブロックは、会員数約30名で構成されています。県内では、一番人数の少ないブロックで、会員の流動も少なく、顔なじみのアットホームな雰囲気ブロックです。業種の枠を越えて、地域に根ざした医療・福祉を目指して、人のために、地域社会のために、走り続けます！

- ①年3～4回開催の定期勉強会は、病院や施設の持ち回りでを行い、10年以上も続いています。
- ②「jimoto地域包括ケアのコラボ隊 with みなまたローズマラソン」では、医療・福祉・介護の合同ブース提供と共に、医務救護としてランナーのサポートを行っています。
- ③水俣市健康まつりでは、健康増進をテーマに、熊本県理学療法士協会さんとの共同ブース開催を、10年以上続けており、市民の方々の健康づくりに寄与しています。
- ④水俣市健康づくり推進協議会、水俣市介護保険等運営委員会、介護認定審査会、水俣市自立支援型地域ケア会議では、医療・福祉の専門家の立場からの発言を行いながら、地域社会のための、社会貢献の場を頂いております。

社会貢献事業

- ◆水俣市介護保険等運営委員会
- ◆水俣市健康づくり推進協議会
- ◆水俣芦北広域行政事務組合 介護保険認定審査会 保健分野
- ◆水俣市自立支援型地域ケア会議



「jimoto地域包括ケアのコラボ隊 with みなまたローズマラソン」を企画・運営

「誰もが幸せに暮らすことのできる地域社会の実現を目指して！」

みなまたローズマラソンの実行委員会さんのご理解のもと、大会会場で、未来を担う子どもたちに将来の職業を選ぶ参考にしてもらおうと、他の医療関係業種の仲間たちなど多くの協力を得ながら、医療・福祉・介護を身近に触れるイベントを企画しています。

また、子どもたちにも大人気！天草ブロックの作業療法士を中心に構成されている有志、オーティンジャーによるヒーローショーの開催など、天草ブロックのご協力も頂きながら、楽しいイベントを企画。昨年からは、熊本県看護協会さんのリーダーシップのもと、医務救護としてランナーサポートを行いながら、大会の運営にも関わらせて頂いています。



今後の展開

- ・さらに、業種の枠を越えて、地域に根ざした医療・福祉を目指して、人のために、地域社会のために、走り続けます！
- ・世界を変えるための17の目標、SDGsに基づき、持続可能な地域社会づくりに貢献します。